

東岐波校区 地域づくり計画



平成 29 年 3 月

東岐波校区コミュニティ推進協議会

目次

第 1 章 東岐波校区の現状と課題	1
1 地域の現状	1
2 地域の課題	3
3 取り組まなければならない課題	8
第 2 章 計画策定にあたって	10
1 計画策定の趣旨	10
2 計画の位置づけ	10
第 3 章 4 つの基本目標	11
1 4 つの基本目標	12
第 4 章 基本目標を実現するための活動	13
1 地域力の強化	13
2 安心安全の推進	15
3 環境改善の推進	16
4 健康づくり、子育て支援の推進	17
第 5 章 計画を推進するための体制	18

参考資料 表 6 東岐波地域 計画推進関係団体説明

第1章 東岐波校区の現状と課題

1 地域の現状

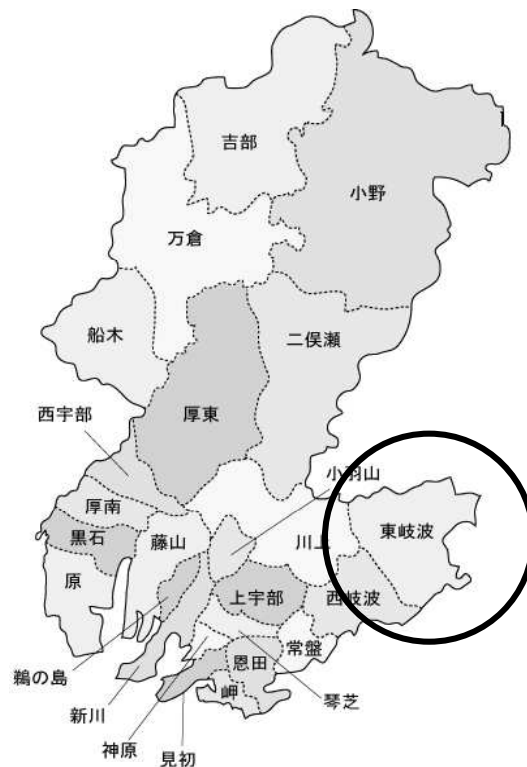
(1) 地域の概要

東岐波校区は、宇部市の東部に位置し、東は山口湾に面し、西は西岐波・川上校区に、北は山口市阿知須地域に接し、南は周防灘に面しています。地域の形は虎が吠えているような形で、東西約4.66km、南北約5.22km、面積は、約13.7k㎡あります。人口は、市内で3番目に多く13,088人(平成28年4月1日現在)です。

地形的には、西側が高く、なだらかな起伏が続いて東南側に低くなっており、平野部は台地と川すじの低地からなっています。高い山はありませんが、東岐波小・中学校の校歌にも歌われている「日の山(標高146m)」は、東北側の海岸近くの山口市阿知須地域との境にあり、その姿形から「象山(ぞうやま)」とも呼ばれています。海岸はほとんどが自然海岸で出入りが多く、月崎、丸尾の両岬が、相対して海に突き出し、岐波、丸尾等の湾が連なっています。

国道190号が中央を縦断し、その沿線に街並みが広がっており、史跡、文化財が大変豊富です。元々農業や漁業が盛んな地域でしたが、近年、耕作している田畑が減り、本市のベッドタウンとして住宅地が増加しています。

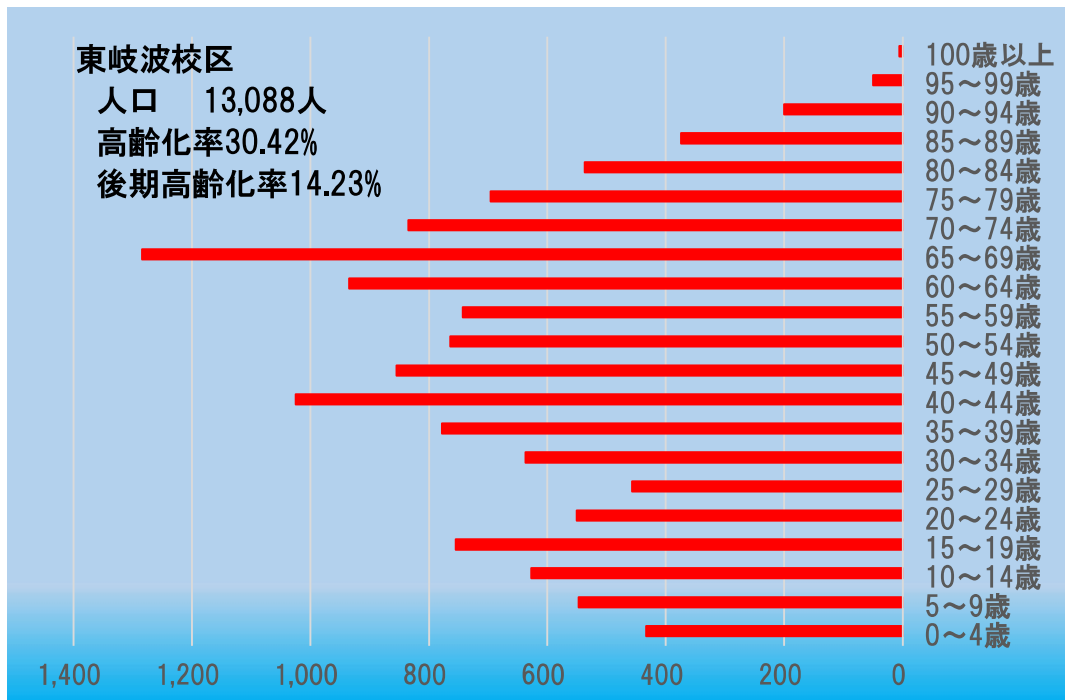
【 図1 東岐波校区 位置図 】



(2) 人口と高齢化の動向

人口は市内でも上位の地域ですが、他地域と同様に少子高齢化の進展が見られ、小学校のクラス数が4から3(1年生)になり、児童数も減少しており、65歳以上の高齢化率も30.42%(平成28年4月1日現在)と宇部市の高齢化率(30.77%)とほぼ同様になっています。

【 図2 東岐波校区 年齢別人口 】



《年齢別住民基本台帳より 平成28年4月1日現在》

(3) 地域の団体行事への参加状況

地域活動の主要団体は、校区コミュニティ推進協議会、校区自治会連合会、校区社会福祉協議会などです。また、25の自治会があり各自治会長を中心に校区行事や自治会独自の行事・取り組みなどを活発に実施しています。

第5期高齢者福祉計画でのひとり暮らし高齢者へのアンケート調査は、東岐波校区は地域のつながりがあると答えている人の割合が市全体に比べて高いことから、地域のつながりはある程度充実しているともいえます。(表1)

しかし、団体によっては、参加メンバーの高齢化や固定化に伴い、新規参加者の減少がみられ、やむなく、事業を中止または規模を縮小して実施している状況もあり、アンケートの結果にもあるように、新たなメンバーの発掘・育成といった人材確保が喫緊の課題となっています。(表2)

【 表 1 「あなたのお住まいの地域では『地域のつながり』がありますか」の質問に対する回答状況 】

校区	回答		
	ある	ない	わからない
東岐波	72.6%	15.1%	12.3%
宇部市	66.7%	18.6%	14.7%

【 表 2 「地域のつながりを強くし、地域の福祉活動を活性化するために、必要なものはなんですか」(複数選択可)の質問に対する回答状況 】

校区	回答			
	ア 専門的な知識や技術を持った人材の育成や発掘	イ 福祉活動を行なうための物資や資金	ウ 地域の人が集まり、活動できる場を増やす	エ その他
東岐波	41.4%	22.2%	33.3%	3.0%
宇部市	42.6%	18.1%	36.1%	3.1%

《高齢者福祉計画 日常生活圏域ニーズ調査 平成 27 年及び緊急通報装置を設置している 65 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象としたアンケート調査 より》

2 地域の課題

現在の東岐波校区の現状を踏まえ、特に高齢者の状況についての課題があることがわかってきました。

そこで、さらに高齢者の状況を把握し課題確認するため、関係団体へアンケートを実施しました。

(1) 自治会連合会へのアンケート

平成 27 年 10 月に「高齢者を支える地域づくりを目指すうえでの自治会の抱える課題について」東岐波校区自治会連合会を通じて、各自治会にアンケートを実施し、課題を把握しました。(表 3)



各自治会主催の健康サロンの様子



【表3 高齢者を支える地域づくりを指すうえでの自治会の抱える課題について(東岐波校区 自治会連合会)】

<p>自治会住民名簿の作成が困難 高齢者や要支援者の把握が困難</p>	<p>●自治会として全世帯の家族構成を把握していない。 ●高齢者は自治会の役員に選出されていないので、状況(家庭・健康等)の把握が難しい。 ●高齢者の中には、自治会の行事にまったく参加しない方もおられるので様子がわからない。 ●現在、班会を1年に1回は実施するよう検討中。身近な班長が高齢者の状況を把握して、3役に報告するようになりたい。 ●独居高齢者の把握が出来ていない。何処に、どんな要支援者がいるか不明。 ●住民名簿を整備したいが、『個人情報守秘』のため、情報開示に至っていない。(民生委員は把握しているようだが、任せ放しでよいのか疑問?) ●何かあった際の身寄り(子供や信頼できる親族)を相手から聞いておくことも大切。(住所、氏名、電話番号等) ●名簿等が出せない、近所であつても個人情報等について話すと怒られるなど、問題が発生した場合民生委員に任せている。</p>
<p>緊急時の対応が不安</p>	<p>●緊急時は、自治会長から各町内の長(自治会全役員を含む)に伝達し、情報対応するようになっているが、過去に災害等がないため、実際に起こった際に対応出来るか不安がある。 ●身近な班長でも、高齢者の状況を把握できていないので、災害等の緊急時にすぐに対応出来るか心配している。 ●避難勧告発生時の連絡については、経験があるが、現在の固定電話による連絡体制で本当に早急かつ確実に伝達できるか不安を感じる。 ●高齢者(独居高齢夫婦)を把握しているのは、民生委員と自治会長くらいなので、もっと周囲の人が認識していないといざという時に手助けできない。</p>
<p>高齢者の居場所づくり 自治会館、集会所の有効活用 見守り体制の充実</p>	<p>●高齢者との積極的な交流実績がないため、高齢者の要望事項を把握していない。 ●高齢者が集まる機会が敬老会のみで、尚且つ出席者も半分くらいで日頃のコミュニケーションが取れていない。(少人数での近所付き合いはあるが、全体的には全くない) ●高齢者世帯との近所付き合いがなく、高齢者が困っているももからない。 ●3役と専門部(老人部・女性部・福祉委員)と高齢者の会合(懇親会を含む)の検討をしたい。 ●高齢者の中でお世話する人を決め、定期的に親睦・懇親を深める会を検討したい。 (3役、老人部、班長で都合のつく人が参加する。) ●自治会会員相互の交流の場が少ない。 (1)多目的広場が少ない(適当な土地がない)(ゲートボールやグラウンドゴルフなどが出来ない) (2)集会所があまり活用されていない → 集会所の備品の整備が必要 ●独居高齢者が増えている中、興味をひき、外に出たいと思えるような居場所づくり、自治会館をもっと活かした使い方が出来ないかと思う。 ●高齢者の中にも趣味や習い事、そしてデイサービス等、出る機会が多い人は問題ないが、閉じこもり気味の人は声掛けが必要である。 ●ちよつとした声掛け、立寄り等通じて、平日頃のコミュニケーションをはかることが、大切。</p>
<p>敬老会のあり方</p>	<p>●自治会に老人部があり、敬老の日集う会を開催しているが、出席率は30%程度である。 ●敬老会行事の参加者が少ない。 一昨年、同行事を開催したが、対象者130名のうち参加者は30名で、評価もよくなかった。(準備した人は裏方さんも含め40名) 昨年からは、自治会→町内会単位でやることにしたが、町内会レベルでも参加者は少なく、開催不能。 他校区では盛大に行っている新聞記事があるが、昔のように当校区全体で開催するのも再考の余地あり。</p>
<p>買い物弱者対策</p>	<p>●自治会内に店がなく、車が無いと買い物に行けない。高齢者の方が不自由している*。 ●検討されている巡回販売についても、買いたい物が全てあるとは限らず、スーパーに向くようになる。 ●今後、更なる高齢化の進展により、自動車運転が困難となる者の増加。 (1)買い物や通院が困難となる → 自治会としての対応困難 (2)孤立化の恐れが高くなる → 自治会会員相互の交流を促進</p>
<p>伝統行事の継承</p>	<p>●若い人は子育て、仕事に忙しく、年寄りにかまっていられない。または、関わりたくない気持ちもあり、古い昔からの事が伝承される環境にない。</p>

《平成27年10月 東岐波校区 地域支え合い会副に伴う自治会連合会アンケートより ※回答のあった自治会のみ》

(2) 民生児童委員協議会へのアンケート

平成 27 年 10 月に「高齢者を支える地域づくりを目指すうえでの自治会の抱える課題について」東岐波校区民生児童委員協議会にも協力してもらい、アンケートを実施し、課題を把握しました。(表 4)

【 表 4 高齢者を支える地域づくりを目指すうえでの自治会の抱える課題について 】
(東岐波校区民生児童委員協議会)

<ul style="list-style-type: none"> ●世帯分離手続きをされておられる家庭が多いため、実際には同居なのか独居なのかわかりにくい。 ●住民票上では、同居されていることになっているが、施設入所により配偶者がおられなくなり、実際には独居となっておられる高齢者を見つけにくい。 ●自治会で行事をしても参加者が少なく、盛り上がりにかける。 ●空家の問題。 ●バス路線がないため、近くの停留所まで出るのにも遠くて不便。 ●高齢化につき、少し離れた地域の病院、買い物等の足として、乗合タクシーが週に2、3回でもあれば良い。 ●ごみステーションが遠いため、高齢者にとっては負担となるので、近くに1箇所設置していただきたいと思う。 ●災害等の緊急時の一人暮らしの高齢者には、避難場所が遠いので近くに指定場所を特定できないものだろうか。
--

《平成 27 年 10 月 東岐波校区 地域支え合い会議に伴う
民生児童委員協議会アンケートより》

(3) 過去の災害状況

過去に台風や大雨による水害、土石流など、大きな災害に見舞われており、その対策は地域での大きな課題となっています。(表 5)



【 表 5 過去の主な災害とその状況 】

年	原因	内容
昭和 17 年	周防灘台風	高潮による被害
昭和 29 年	台風 12 号	高潮による被害
昭和 30 年	ルイズ台風	高潮による被害
平成 5 年	連続的な降雨	日の山土石流被害
平成 11 年	台風 18 号	高潮による被害

《東岐波郷土誌研究会 資料より》

(4) 地域活動における視点

平成 26 年から、東岐波市民センターに地域・保健福祉支援チームが設置され、地域行事や地域団体の活動に参加し、地域課題の解決や地域の魅力活用について、地域の方々と一緒に考え、取り組んでいます。

支援チームの活動における視点も活かす必要があると思いますので、把握した地域の現状の主なものを取りまとめてみました。

- 自治会等の組織の後継者や地域の事業に関わるスタッフが不足している。
- 多くの校区行事が盛んだが、参加者が固定化している。
- 魅力ある伝統行事や文化財が多いが、それを継承する人材の確保が難しい。
- 人がほっとする、癒される景色や食がたっぷりあるが、あまり知られていない。
- 交通量が多く、事故の危険性が高い場所がある。
- 海岸のゴミの不法投棄(漂着物含む)がある。
- イノシシ等の出没があり、鳥獣被害が増加している。
- 子育ての情報が入りにくく、子育てについて不安がある。
- 健康づくりや体力づくり活動が盛んだが、参加者が固定している。
- 健康教室等で血圧測定をした結果、血圧の高い人が多い。



3 取り組まなければならない課題

これまでの取り組みなどから、下記のような課題がみえてきました。

(1) 地域の絆、人と人とのつながりの重要性

少子高齢化等の人口構造の変化や個人の価値観の多様化などにより、地域の絆や人と人とのつながりといった住民の連帯意識が希薄になっています。それにより、地域活動を支える人材の不足を招き、人材育成も難しいことから、地域の活性化やコミュニティ活動の発展に影を落としています。

また、認知症高齢者や一人暮らし高齢者が増加する中、高齢者を支援するための情報共有の必要性について多くの声が上がっていますが、個人情報保護の観点から困難な面もあります。しかし、地域の絆を強化し、見つめ直すことで、地域の豊かな自然や文化財等の郷土のお宝を守り、価値を高めていくことにつながることから、地域力を高めることが出来ます。

人と人とのつながりを強化し、地域の関係団体の活動の推進を図ることで、地域の力を発揮できる環境を整え、心豊かで住みよい地域づくりを進めていかなければなりません。



(2) 安心・安全な地域づくり

校区の中心を国道が縦断し、交通の要所である東岐波校区では、高齢化が進むことで、さらに高齢運転者の増加が予想されます。高齢者が事故を起こさないようにするための対策強化や交通量が多いことから、通学する子どもたちを含めた歩行者の安全確保も重要です。

また、台風による高潮等、過去に大きな災害に見舞われている海側の地域や土砂災害を経験した地域では、防災意識は非常に高いものの、緊急避難の際の情報共有などについて不安の声があがっており、災害に強い地域づくりを進めるための各自治会の具体的な取り組みや日頃の準備が重要となります。

(3) 住みよい東岐波への環境改善

平成 28 年 10 月に東岐波校区のバス路線の一部が廃止となる等、公共交通機関の利便性の低下がみられます。加えて、郊外の大型ショッピングセンターの建設により、近くに買い物をする店舗もないという状況が進み、特に自動車を運転しない高齢者を中心として、買い物、医療などの生活に必要なサービスの確保が困難であるという声が多くあがっています。そのため、通院、買い物弱者問題の解決に向けた取り組みが重要となります。

また、海岸の漂着ごみやごみの不法投棄、河川・海の問題や農作物の鳥獣被害の増加など、自然環境に対する問題への対応も強化する必要があります。

(4) 健康づくり、子育て支援

「地域の子どもは地域が育てる」と言われていますが、これは重要な視点で、様々な地域活動の中で欠かすことの出来ない最も重要なことは、将来にわたって地域活動を実践する人材をどのようにして見つけ、育成していくかということであり、そういった意味からも子どもたちは「地域の宝」です。

したがって、地域で若年層や子育て世帯を見守り、子育てしやすい環境を整えていくことが重要で、そのためには、育児サークルや育児に関する情報を収集・提供する取り組みや親が安心して悩みや困りごとを相談出来る仕組みづくりが必要となります。

育児サークルなどの活動を通じて、親が間接的に地域活動へ参加し、また仕事や家庭生活以外の地域活動に積極的に参加する親の後ろ姿を子どもたちが見て学ぶことによって、また次の実践者を育成することにつながっていくのではないかと考えます。

我が国の平均寿命は世界でもトップクラスですが、近年では健康寿命が重要視されています。校区の高齢化率も年々上昇する中、子どもから高齢者までの健康づくりに関する取り組みが重要であり、地域住民の健康の状況や地域活動にも大きな影響を与えることとなります。

高齢者対象の健康教室などでの血圧測定においては、血圧の高い方が目立ち、特に血圧を維持することを意識した健康づくりの取り組みが重要です、高齢になっても、住み慣れた地域で自立した心豊かな生活が出来るよう、また健康寿命を長く保てるように、地域で効果的な健康づくり活動を実践することが、とても大切になります。



第2章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

東岐波校区においては、人口減少や超高齢化の進行に伴う地域活動の人材不足や安心・安全に暮らす仕組みづくりなど、多くの地域課題に対して、先送りすることは出来ない状況にあります。

将来、市行政からこれまでのようなサービスが受けられなくなった場合でも、地域活動を停滞させる訳にはいかないことから、自らの知恵とアイデアを絞って、これらの課題解決に取り組んでいかなければなりません。

そこで、地域が自主的に地域活動などの目標を立て、自主的、計画的に運営出来るような仕組みが必要です。そのためには、将来の地域づくりについて協議・検討して記録した計画とその計画を推進することができる組織(プロジェクトチーム)の設置についても検討し、その会議の進め方について決めておく必要があります。

本計画は、東岐波校区が、自主的に地域の資源や特色を生かした魅力ある地域づくりを推進するための方向性を明らかにし、今後の地域での事業を円滑に実施していく事を目的としています。

2 計画の位置づけ

本計画は、東岐波校区における地域づくりを推進するための計画と位置づけ、地域力の強化、安心・安全の推進、環境改善の推進、健康づくり・子育て支援の推進等、地域生活全般に関わる取り組みを明記し、校区住民自らが安心・安全で活力のある地域社会を築いていくための目標とするものです。

このたび、地域づくり計画を作りましたが、最も重要なのは、本計画を運用するために具体的にどのように取り組むのか、また、どうやって進めていくのかの手法などについて、プロジェクトチームを募り、協議・検討することです。あわせて、地域づくり活動の進め方について検証する必要もあります。

また、将来、現状に合わなくなってきた場合には、計画を見直し、改訂することも必要です。



第3章 4つの基本目標

第1章で、アンケート調査の結果や関係機関等による活動から導き出された課題を分析し、基本目標を掲げました。

今回、明らかになった課題について、東岐波校区では、「まず何を実現しようとするのか」を考えました。その中でも、特に自家用車を運転しない高齢者等の買い物、医療、通勤など、日常生活に必要な生活サービスの確保が困難であるという意見が多くあり、現在バス路線がある地域においても、その路線についての見直しが検討されていることから、地域住民の外出支援に対して、緊急に対応する必要性があると判断し、この課題について、積極的に取り組むことを検討しました。

こうしたことから、「地域住民の外出支援と安心して生活するための環境整備」を本計画の重視する視点として位置づけ、地域住民への支援を充実します。

重視する視点

地域住民の外出支援と安心して生活するための環境整備



1 4つの基本目標

今回、明らかになった課題を基に、東岐波校区で住民自身の手で安心・安全で活力のある地域社会を築いていくためのキーワードを4つ掲げ、これからの地域づくりの施策の柱としました。

(1) 地域力の強化

- ① 地域の絆、人と人とのつながりを強化し、地域団体の活動を高めて、住みよい地域づくりを推進します。
- ② 地域の豊かな自然環境や文化財等の郷土を守り、地域で伝承する仕組みづくりを推進します。

(2) 安心・安全の推進

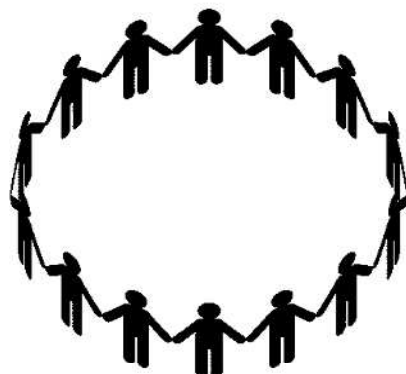
- ① 地域住民一人ひとりが交通安全に関心を持ち、地域関係団体等と協働して、交通安全に取り組むことを推進します。
- ② 地域住民が協力して災害被害に取り組む体制を整備し、互いに協力し合える仕組みづくりを推進します。

(3) 環境改善の推進

- ① 【重点】地域住民のニーズに対応した、安全・安心の公共交通システムを確保するための環境整備を推進します。
- ② 地域に適応した自然環境保全のための効力を高めるための地域活動の充実を図り、積極的に自然環境の回復を図る仕組みづくりを推進します。

(4) 健康づくり、子育て支援の推進

- ① 地域住民一人ひとりが健康に関心を持ち、地域の特色を生かした健康づくりに積極的に取り組む活動を推進します。
- ② 地域の次世代を担う子どもたちが安心して健やかに成長できるための支援体制整備を推進します。



第4章 基本目標を実現するための活動

1 地域力の強化

<基本目標の方向性>

- ① 地域の絆、人と人とのつながりを強化し、地域団体の活動を高めて、住みよい地域づくりを推進します。
- ② 地域の豊かな自然環境や文化財等の郷土を守り、地域で伝承する仕組みづくりを推進します。

事業名	事業内容	時期	主体
校区夏まつり	中学生の吹奏楽演奏、芸能発表、出店、バザー、仮装、盆踊りなど多彩な催しがあり多くの住民が参加する華やかなまつり。	8月	コミュニティ推進協議会
校区ふるさとまつり	文化作品展示、芸能発表、駅伝、バザー、福引、もちまきと多彩な催しがあり、多くの住民が参加する華やかなまつり。	11月	コミュニティ推進協議会
子ども冬まつり	新年恒例行事で、どんど焼き、獅子舞、お餅などの接待がある。	1月	子ども会育成協議会
亥の子つき	かつて、農村地域であった東岐波の伝統行事で、わらで作ったわらぼてで地面を叩き、亥の子の歌を歌いながら、家々を回る。	11月	ふるさと運動実行委員会
ふれあい散策マップめぐり	平成22年に作成された「東岐波ふれあい散策マップ」に紹介されている校区内の遺跡・史跡・遺物等を散策する。	11月	郷土誌研究会
クロマツ・オリーブ植樹、アサリ放流	かつて魚やアサリが豊富に獲れていた豊かな里海を取り戻すための活動を行っている。	通年	里海再生の会
花壇整備	宇部市の東の玄関口として年間を通して綺麗な花で住民の目を楽しませている、国道190号沿線の花壇の維持管理。	通年	フラワーロード東岐波
独居高齢者に手作りケーキのお届け	毎月、その月に誕生日を迎えられる独居高齢者に手作りケーキを届け、見守りをしている。	通年	虹の会

区民体育祭	多くの校区民が参加し、スポーツを通し、世代を超えて交流している。	5月	コミュニティ推進協議会
健康サロン	地域の拠点である自治会館で高齢者の健康づくりや茶話会を実施している。	通年	各自治会
丸尾十七夜管弦祭	宇部市無形文化財でもある丸尾地区の夏の風物詩。	7月	丸尾自治会 しゃぎり保存会
喜和教養学級	高齢者いきがいセミナーで年9回のプログラムで実施される。	通年	寿会



丸尾十七夜管弦祭



校区夏まつり



子ども冬まつり



亥の子つき

2 安心安全の推進

＜基本目標の方向性＞

- ① 地域住民一人ひとりが交通安全に関心を持ち、地域関係団体等と協働して、交通安全に取り組むことを推進します。
- ② 地域住民が協力して災害被害に取り組む体制を整備し、互いに協力し合える仕組みづくりを推進します。

事業名	事業内容	時期	主体
交通安全立哨	春・夏・秋・冬と交通安全県民運動に合わせて、交通立哨を行なっている。	通年	交通安全部
登下校子供見守り	年間を通して、子どもたちの登校日に見守り立哨を行なっている。	通年	寿会
校区危険箇所点検見回り活動	校区内の危険箇所の点検見回りを行なっている。	10月	交通安全部
独居老人交通事故防止戸別訪問	校区内の独居老人宅を個別に訪問し、交通事故防止の周知活動を行なっている。	11月	交通安全部
岐波駅・丸尾駅パトロール	自主防犯活動推進のため、岐波駅・丸尾駅の駐輪場の整備を行っている。	通年	防犯連絡所指導員協議会
あいさつ立哨街頭補導	青少年健全育成及び非行防止を目的にあいさつ立哨・街頭補導を行なっている。	通年	ふれあい運動推進委員会
障害者、高齢者宅訪問	障害者、高齢者宅を訪問し、暮らしについての相談業務を行っている。	通年	民生児童委員協議会
安全パトロール	自治会ごとで、声掛けや見守りにより安否確認のための訪問活動を行っている。	通年	福祉委員会
安全パトロール	声掛けや見守りにより安否確認のための訪問活動を行っている。	通年	保護司会
止血法等救急救命講習、AED使い方講習会	いざという時に備えての講習会を実施。	10月	校区自主会防災会

3 環境改善の推進

＜基本目標の方向性＞

- ① **【重点】地域住民のニーズに対応した、安全・安心の公共交通システムを確保するための環境整備を推進します。**
- ② 地域に適応した自然環境保全のための効力を高めるための地域活動の充実を図り、積極的に自然環境の回復を図る仕組みづくりを推進します。

事業名	事業内容	時期	主体
リフレッシュ瀬戸内 (海岸清掃)	子ども達の体験学習及び社会参加の一環として昭和49年から継続実施されている海を綺麗にする運動で海水浴シーズン前の6月に実施している。	6月	東子連
海岸清掃	台風シーズン後に漂着物を清掃する活動で、毎年10月頃行われている。	10月	環境衛生部
【重点】 地域内交通導入検討会	バス路線の廃止及び現在、バスが通っていない地域にコミュニティ交通を導入するための検討を行っている。	現在	コミュニティ推進協議会
【再掲】花壇整備	宇部市の東の玄関口として年間を通して綺麗な花で住民の目を楽しませている、国道190号沿線の花壇の維持管理	通年	フラワーロード 東岐波
【再掲】クロマツ・オリーブ植樹、アサリ放流	かつて魚やアサリが豊富に獲れていた豊かな里海を取り戻すための活動を行っている。	通年	里海再生の会



クロマツ植樹



リフレッシュ瀬戸内

4 健康づくり、子育て支援の推進

＜基本目標の方向性＞

- ① 地域住民一人ひとりが健康に関心を持ち、地域の特色を生かした健康づくりに積極的に取り組む活動を推進します。
- ② 地域の次世代を担う子どもたちが安心して健やかに成長できるための支援体制整備を推進します。

事業名	事業内容	時期	主体
ぴこぴこランド	音楽に合わせての体操や工作など親子で楽しめる活動をし、交流を図る。(年5回)	通年	母子保健推進協議会
寿会スポーツ大会	校区内の高齢者が東西南北4チームに分かれて競技するスポーツ大会。	5月	寿会
東子連ドッジビー大会	各自治会の子どもたちで6年生以下、5年生以下、3年生以下に分かれて競技する。	7月	東子連
ナイトハイク	参加中学生が、ふれあいセンターから山口市セミナーパークを折り返し戻ってくる。	8月	東岐波中PTA
東子連文化祭	各自治会の子どもたちで合唱や演劇を披露する。	10月	東子連
グランドゴルフ大会	高齢者によるグランドゴルフの大会。	11月	寿会
区民体育祭	自治会対抗で行われ、世代を超えた交流が出来る。	5月	コミュニティ推進協議会
サロンぴこぴこ	子育て中の母親の交流・情報交換の場で、年5回開催している。	通年	母子保健推進協議会
歌・音楽を使ったレクリエーション	高齢者のための脳トレーニング、心肺機能を高める健康づくり。	1月	コミュニティ推進協議会
サロン、教室等での健康チェック(血圧、体重、体温等)	普段の健康状態を把握し、その変化を知ること、生活習慣の見直しを行う。	通年	地域・保健福祉支援チーム 東部第1高齢者総合相談センター
ふれあいセンターでの常時血圧測定(血圧計設置)	自分の血圧を知り、健康に関心を持ち、健康づくりに取り組むきっかけをつくる。	通年	コミュニティ推進協議会

第5章 計画を推進するための体制

行政等による子育て支援や高齢者対策など、地域への支援対策は、随時見直しをされていきます。その動向を踏まえ、東岐波校区の将来を見据えた地域づくりを、地域の力でさらに推し進めていく体制が必要です。

現在の体制(図4)を踏まえ、各専門部や各団体が協力しながら、東岐波校区の住民自身の手で、安心・安全で活力のある地域社会を築いていきます。





自主防災会
AED講習会



寿会スポーツ大会



ふれあい散策マップめぐり



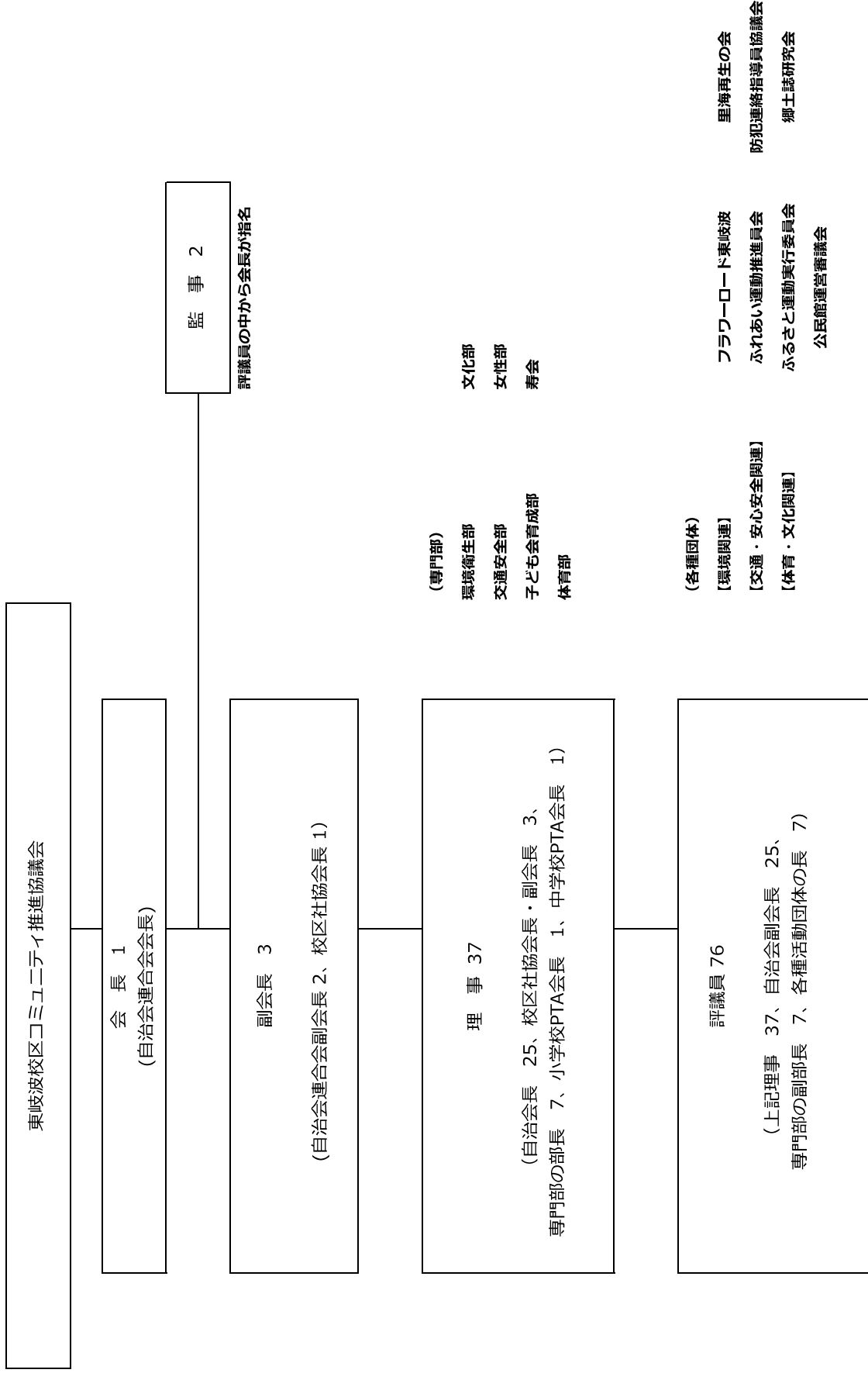
虹の会 ケーキ作り



日の山シバザクラ

【 図4 東岐波校区 計画推進体制 】

東岐波校区コミュニティ推進協議会組織図



【 表6 東岐波地域 計画推進関係団体説明 】

◇ 自治会連合会	東岐波校区25自治会の集合組織で、自治会及び諸団体の運営向上に必要な事項について支援するとともに市政との連絡協調に努める。
◇ コミュニティ推進協議会	心豊かな明るい住み良い東岐波校区をつくることを目的とし、会の活動を促進するため、7つの専門部を置き、別に7つの各種活動団体が所属している。
○ 環境衛生部	毎月の荒ゴミの分別指導や毎週のプラごみの分別指導の活動を行い、毎春秋には黒崎附近の海岸清掃も行っている。
○ 交通安全部	安全で安心して住める地域づくりを目指して、交通安全運動実施期間中等の児童・生徒の登校時立哨、交通安全指導および反射材等交通安全資材の配布などの啓発活動を行っている。
○ 子ども会育成部	「地域の子どもは地域で育てていく」、「子ども会に多くの子どもたちが参加し、楽しく活動していく」を目標に球技大会・キャンプ・文化祭・子ども冬まつり（どんど焼き）等、さまざまな活動を行っている。また、昭和49年から海岸清掃活動（リフレッシュ瀬戸内）に取り組んでおり、平成26年には「緑綬褒章」を受賞し褒状を授与された。
○ 体育部	東岐波校区住民の健康と体力維持向上さらには人と人とのつながりを深めることを目指し、東岐波区民体育祭・自治会対抗ソフトボール・市民球技大会校区予選（ソフトボール、ソフトバレー、インディアカ）、駅伝（東岐波ふるさとまつり）など1年を通して行っている。
○ 女性部	校区コミュニティの各行事での参加・協力 主に、体育祭でのお手伝い、夏まつりでの踊り参加、ふるさとまつりでの遊休品集めと販売ならびにうどんの販売、子ども冬まつりでのげんざいの接待等の側面支援を行っている。
○ 文化部	東岐波区民体育祭や東岐波校区夏まつりの放送機器の設置、音響、司会進行等を行っている。また、東岐波ふるさとまつりでは、作品の受付・展示やステージでの催し物の運営などを行っている。
○ 寿会	7つの単位老人クラブ（東第一寿会、東第二寿会、西第一寿会、西第二寿会、南第一寿会、南第二寿会、北第一寿会）の連合会で、東岐波校区在住の概ね60歳以上の方ならどなたでも会員になれる。スポーツ大会を行ったり、毎年7月に開校、3月に開講する喜和教養学級で学習したり、意欲的に活動している。また、小学生下校時の見守り活動や校区内のバス停留所の清掃を行っている。
各種活動団体	
○ フラワーロード東岐波	国道190号沿線花壇（両側延べ約5km）の維持・管理を行っており、宇部市の東の玄関口として多くの人々に認知されている緑化活動である。宇部市の花壇コンクールにおいても毎年のように数団体が表彰されている。
○ 里海再生の会	かつて魚やアサリが豊富に獲れていた「豊か里海」を取り戻すため、海底湧水調査・アサリの放流・クロマツやオリーブの植樹などを地域の小中学校と一緒に取り組んでいる。
○ ふれあい運動推進委員会	青少年の健全育成及び非行防止を目的とした啓発活動（小・中学校校門でのあいさつ立哨や校区内での街頭補導）・校区主催行事・美化活動などを行っている
○ 防犯連絡指導員協議会	自主防犯活動を推進し、防犯意識の高揚を図ることを目的に岐波駅・丸尾駅前の駐輪場の整備などを行っている。
○ ふるさと運動実行委員会	農作業体験や東岐波の伝統行事などを子どもたちに継承し、農作物や自然の恵みに感謝することを学ばせ、作法や躰を教えながら、子どもたちの健全育成に寄与している。田植え・芋さし、かかし作り、稲刈り・芋ほり、亥の子つき、輪飾り作り、竹細工と野草試食会、ほんぼらめし作りなどの行事を行っている。
○ 郷土誌研究会	郷土の風土や歴史を知ることによって、より有意義な生活を送り、ますます郷土愛が深まることを目指して活動している。 会誌「喜和」の発行、郷土史講演会の開催、史跡・遺跡の保存・保護・清掃活動、史跡・文化財探訪バスハイク、郷土の史跡めぐり、古文書学習会、孝婦た々木ゆかを偲ぶ会の開催、史跡標柱建立などの活動を行っている。
○ 公民館運営審議会	東岐波校区住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図るため、公民館における各種事業の企画実施について調査審議を行っている。

◇ 校区社会福祉協議会	東岐波校区内の社会福祉の高揚を図ることを目的とし、校区内の全世帯員をもって組織されている。高齢者福祉の推進（単位自治会敬老行事等に対する助成等）、地域広報活動（広報ひがしきわの発行）、ボランティア等への活動支援を行っている。
● 民生児童委員協議会	暮らしについての相談役や行政機関の協力役として、地域福祉の推進に努めている。社会調査活動・相談活動・情報提供活動・連絡通報活動・調整活動・生活支援活動・意見申活動を行い、毎月、定例会を開催している。
● 福祉委員会	各自治会より選出され、宇部市社協会長、校区社協会長から委嘱を受けて活動する「小地区福祉活動の推進者」である。地域の福祉問題やニーズの解決に取り組んでいる。
● 保護司会	保護司の職務遂行における計画の策定、その他保護司の職務に関する連絡及び情報の収集のため研修会に参加している。
● 虹の会	毎月、その月に誕生日を迎える東岐波校区内在住の75歳以上の独居高齢者宅を訪問し、手作りケーキを届けるとともに見守り活動を行っている。
● 人権教育推進委員協議会	東岐波校区の人権推進に取り組んでいて、人権教育学習会や人権推進大会を開催している。
● 母子推進委員会	東岐波校区の母子の健康推進のため身近な相談役として活動している。子育てサークル「ひこびこランド」を5回開催し、赤ちゃん訪問員として3ヶ月児への訪問を行なっている。